



Creative Application A15

Creative Applicationとメディア実装

2025年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

Creative Applicationとは

- ▶ 「メディアApp」の実現を目指す演習です
- ▶ メディア学の素養と新しい技術体系に触れ, iOS Appを開発実践します



このような方に向いています

- ▶ ソフトウェア開発に興味のある方
- ▶ 自分のAppを作ってみたい方
- ▶ メディア学をご自身の目指す分野で活かしたい方

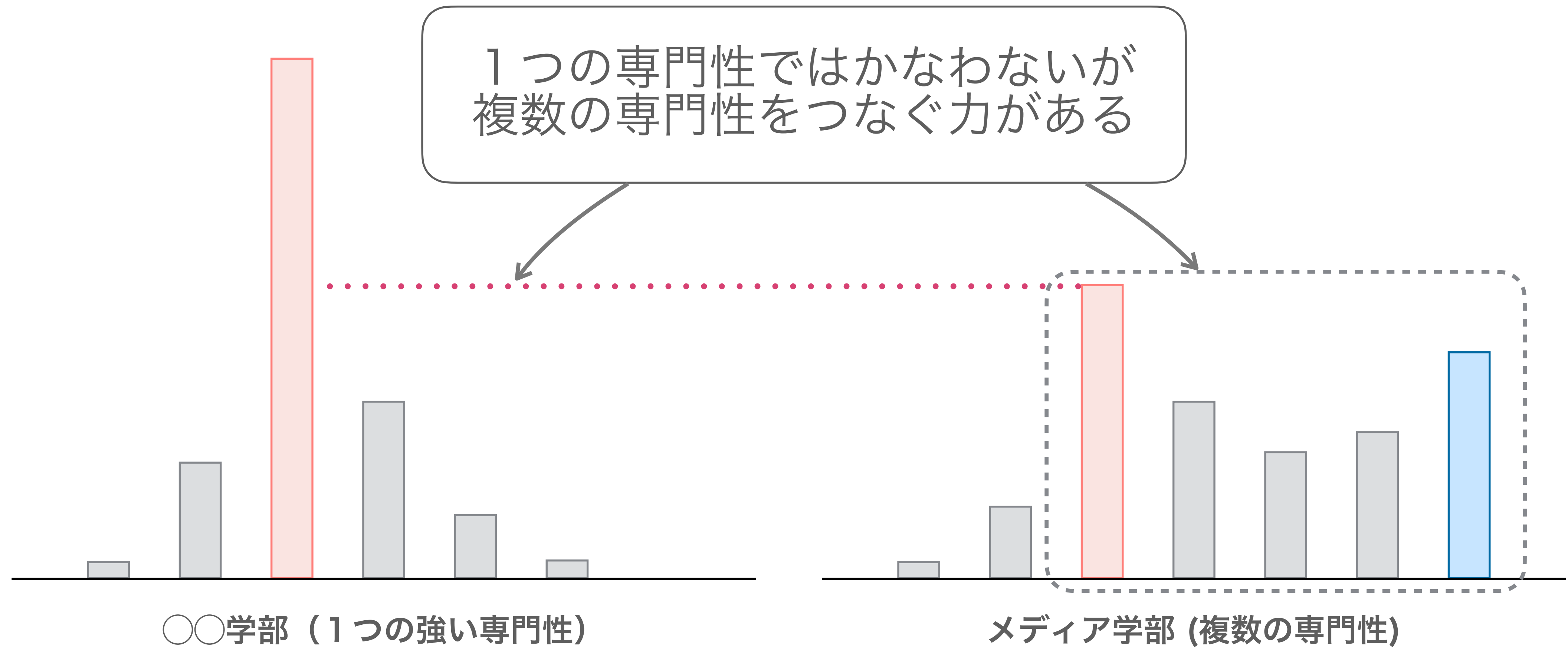
教員紹介

- ▶ **戀津 魁 (れんつ かい)**
 - ▶ MS6期 博士(MS) メディア学部助教
 - ▶ メディアインフォマティクス, データベースエンジニア
- ▶ **渡邊 賢悟 (わたなべ けんご)**
 - ▶ MS1期 博士(MS) 渡辺電気(株)代表取締役
 - ▶ ペイントグラフィクス, Appエンジニア, 経営者
 - ▶ **メディア学 + App開発** を業務に活用中
- ▶ **技能を活性化するメディア学の大切さを伝えたい**

メディア学部の特徴

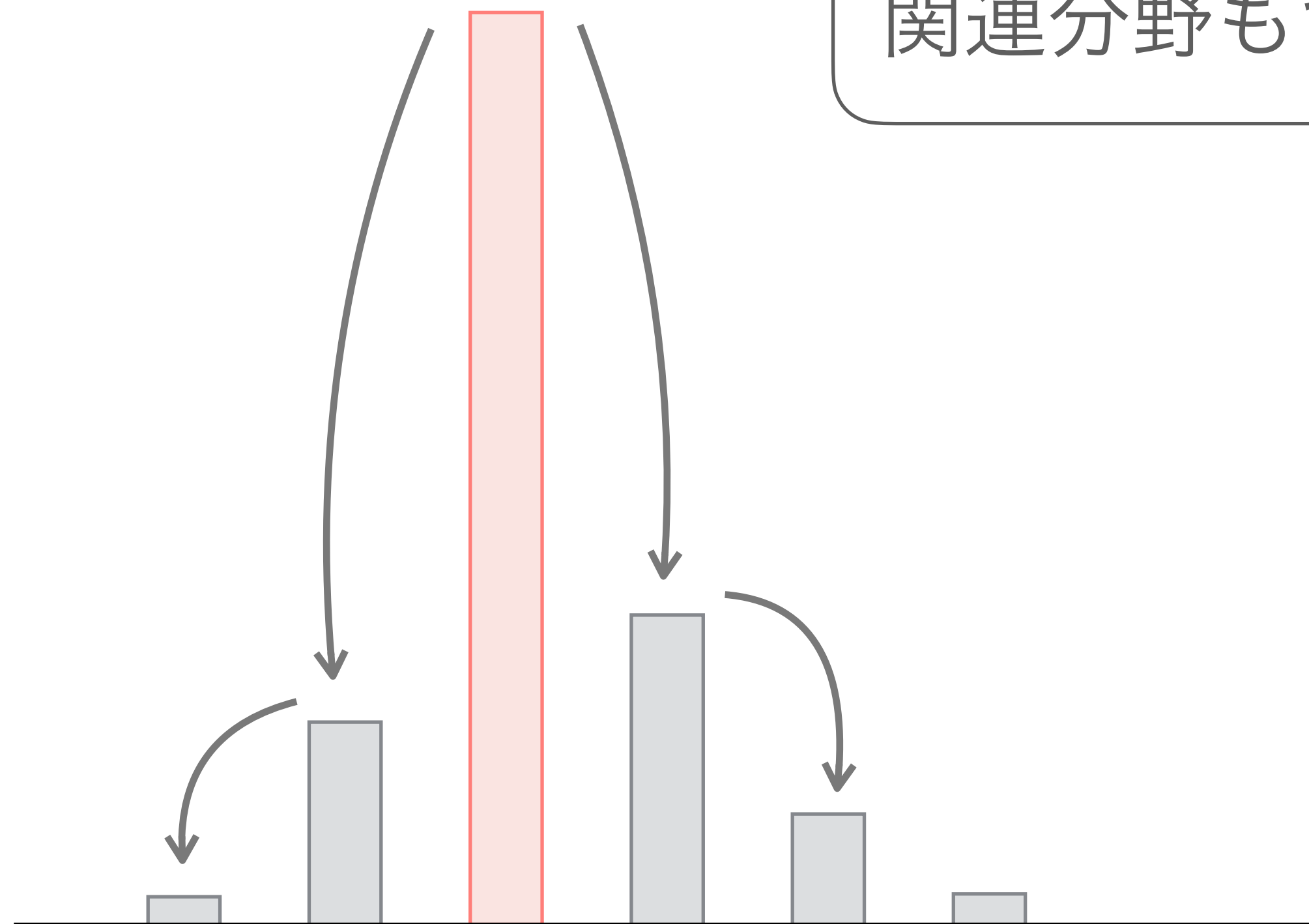
時代と社会に求められるメディア学の強み

1つの強い専門性・複数の専門性

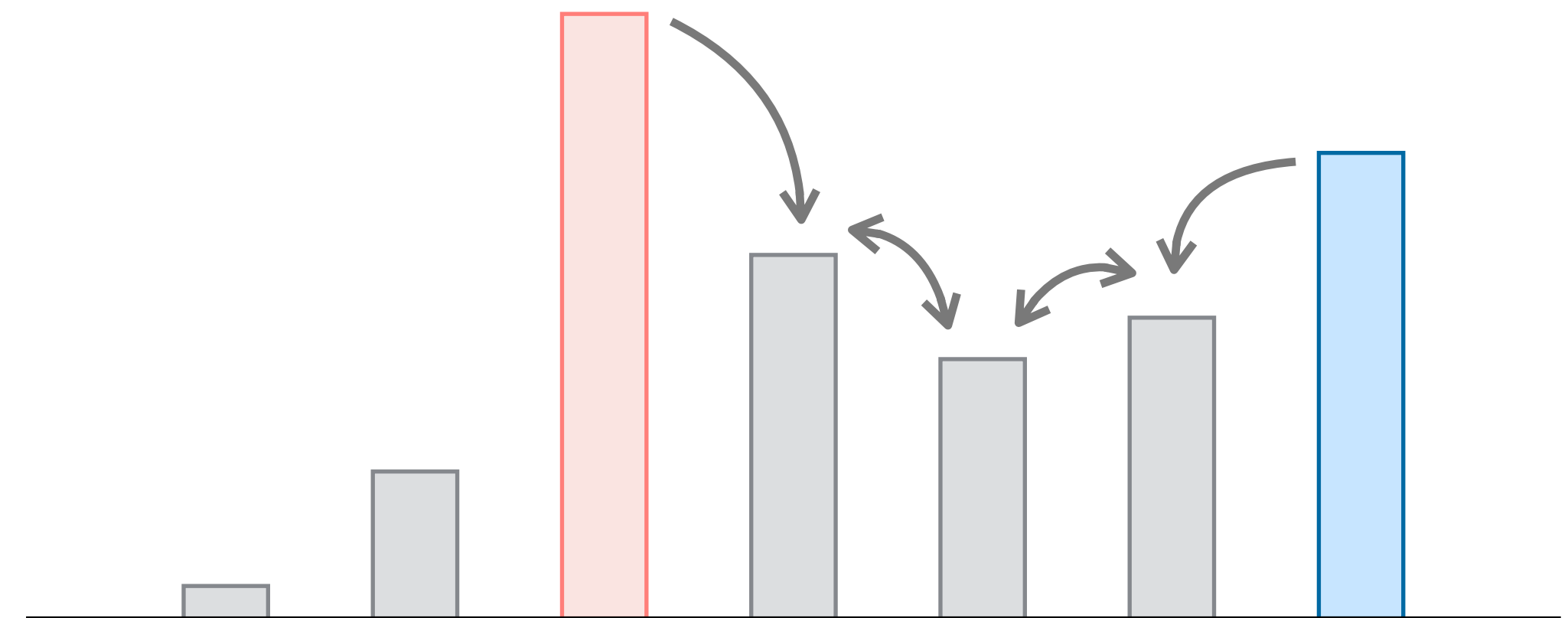


専門性の伝播

関連分野もつられて伸びる



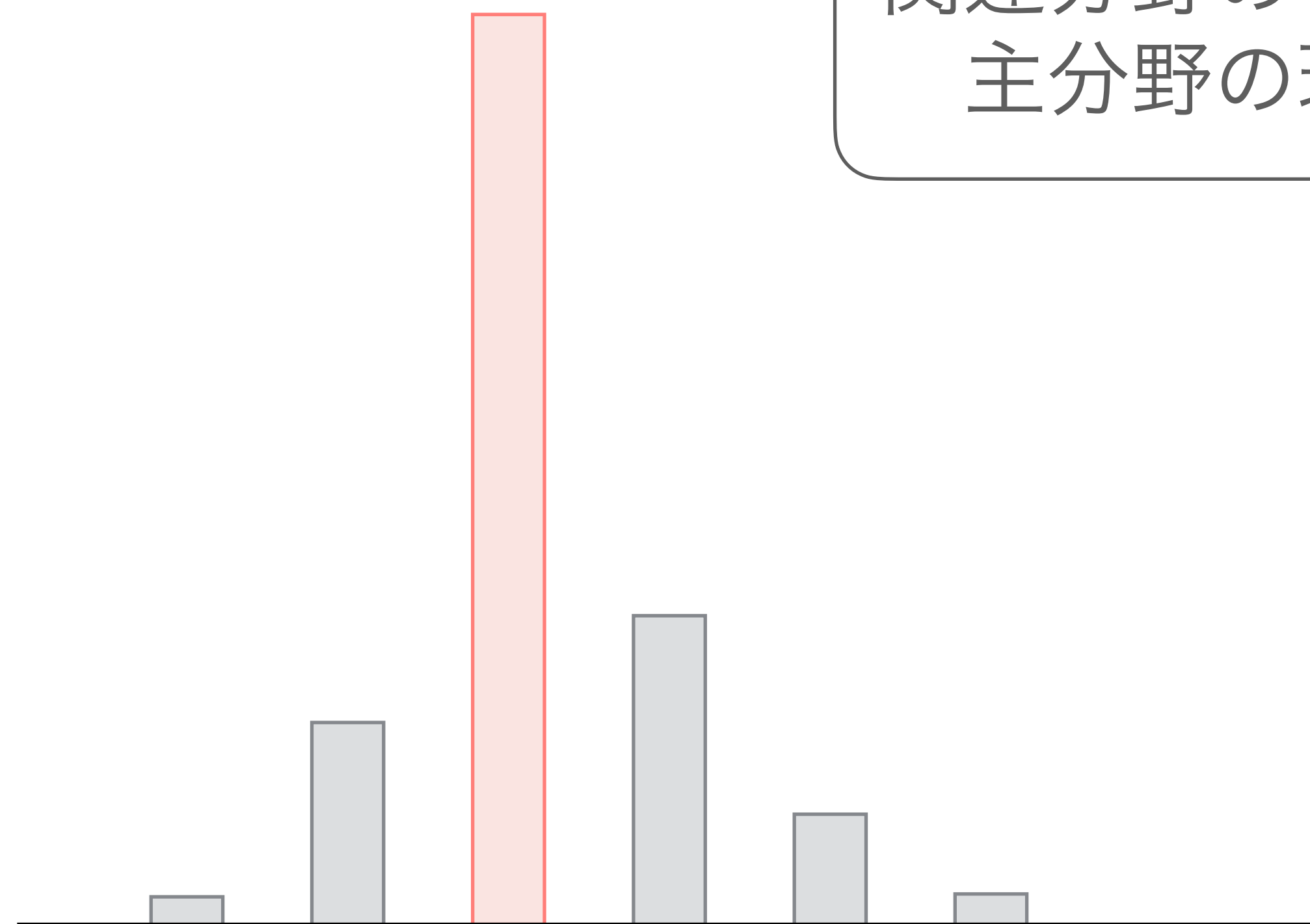
〇〇学部



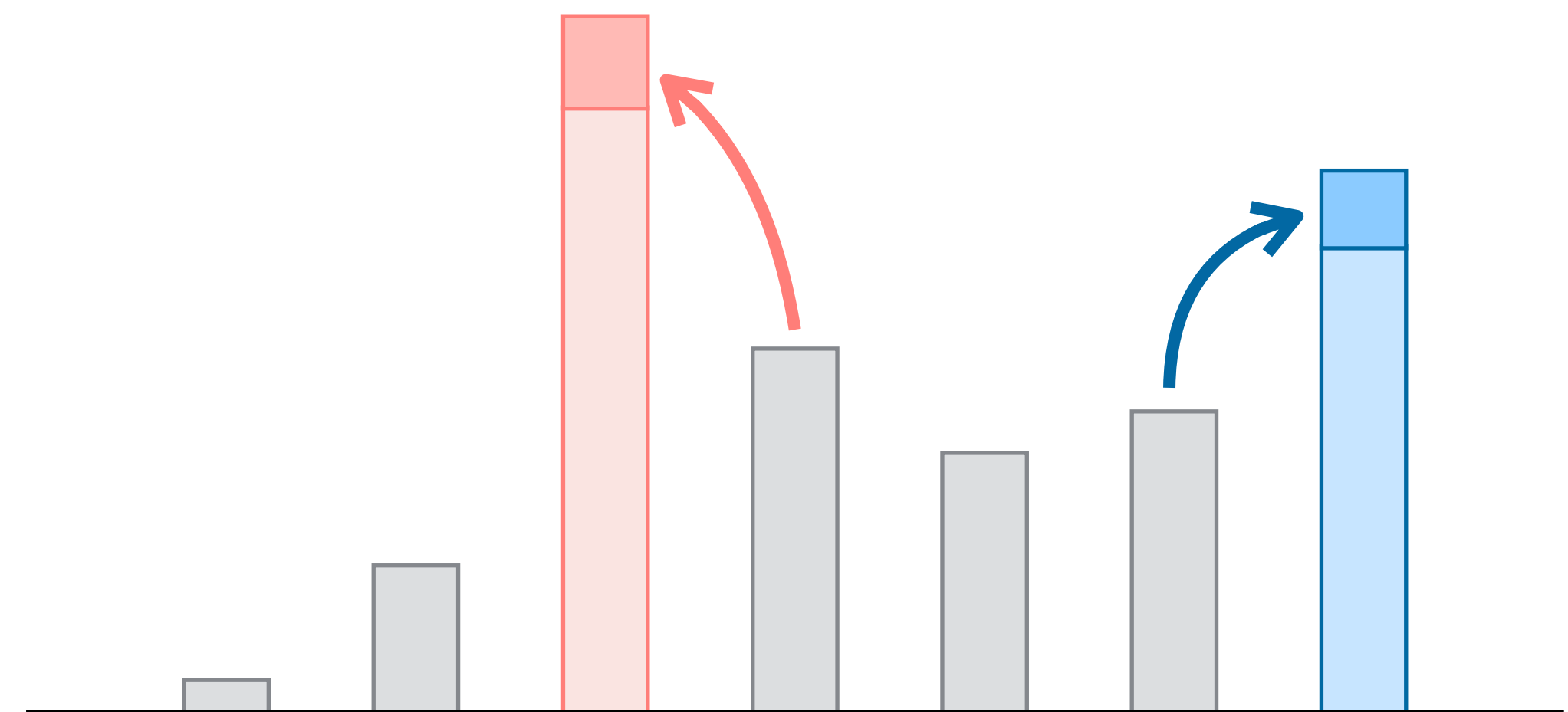
メディア学部

分野間フィードバック

関連分野の視点をヒントに
主分野の理解が深まる



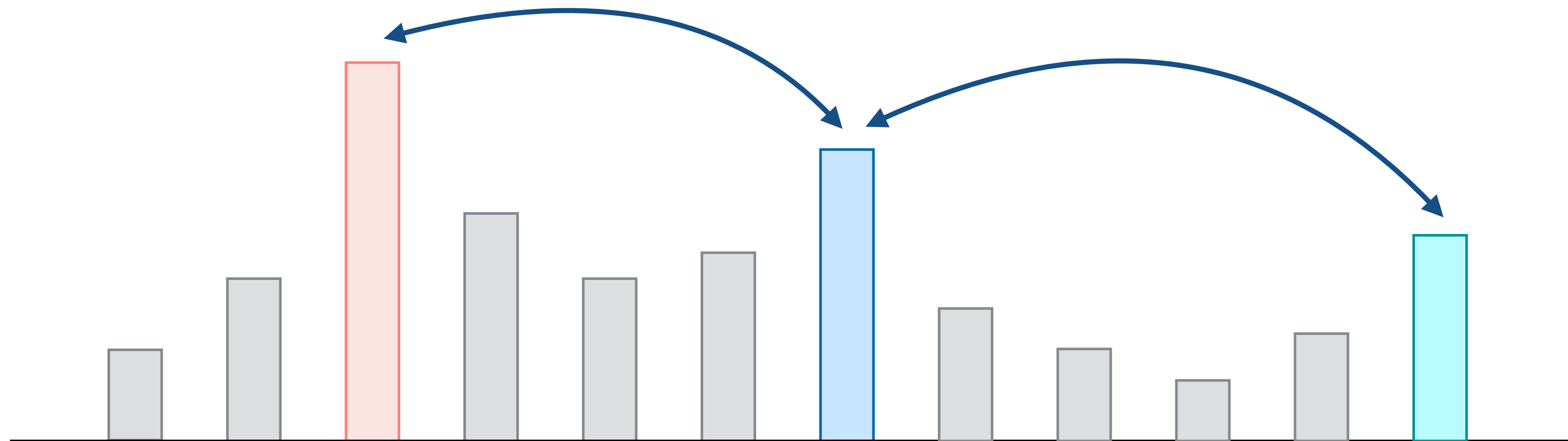
〇〇学部



メディア学部

専門性をつなぐ思考 - マルチメジャー

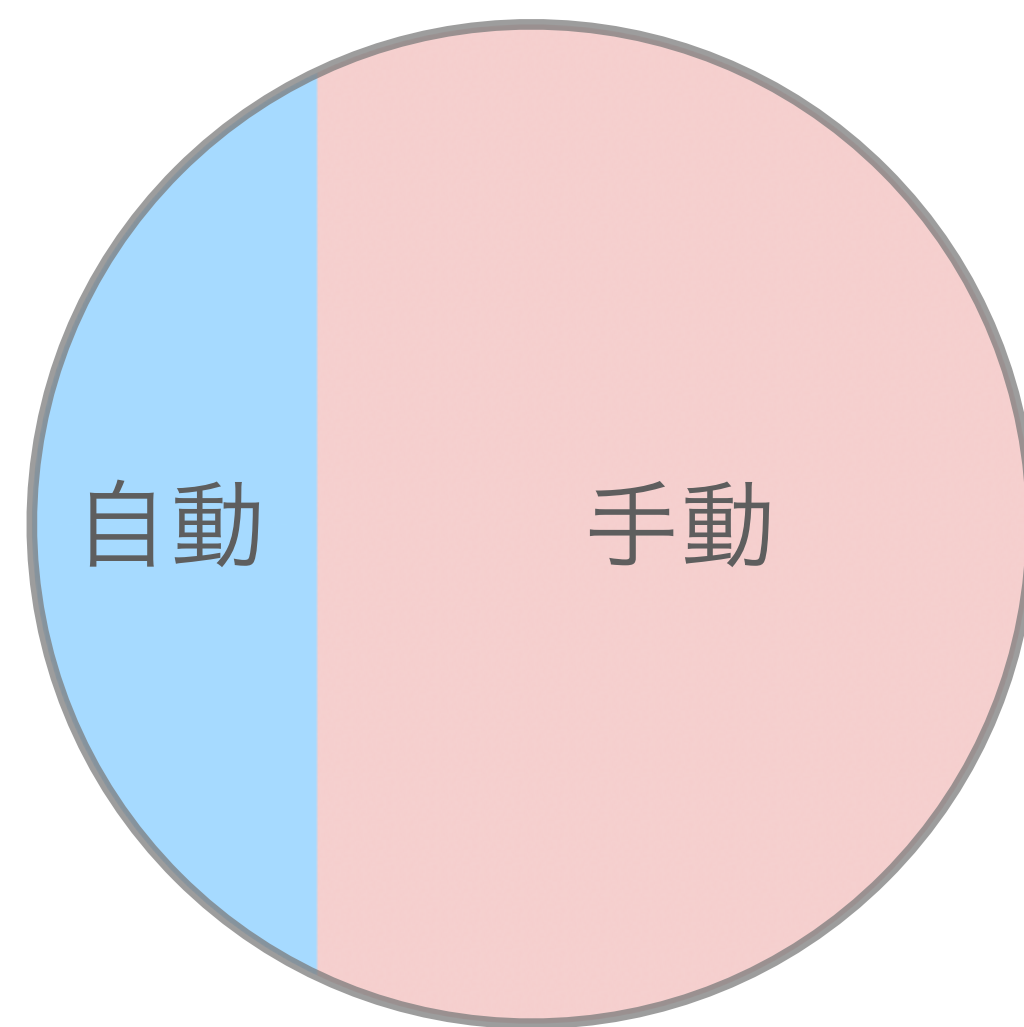
マルチメジャー (複数の専門性)



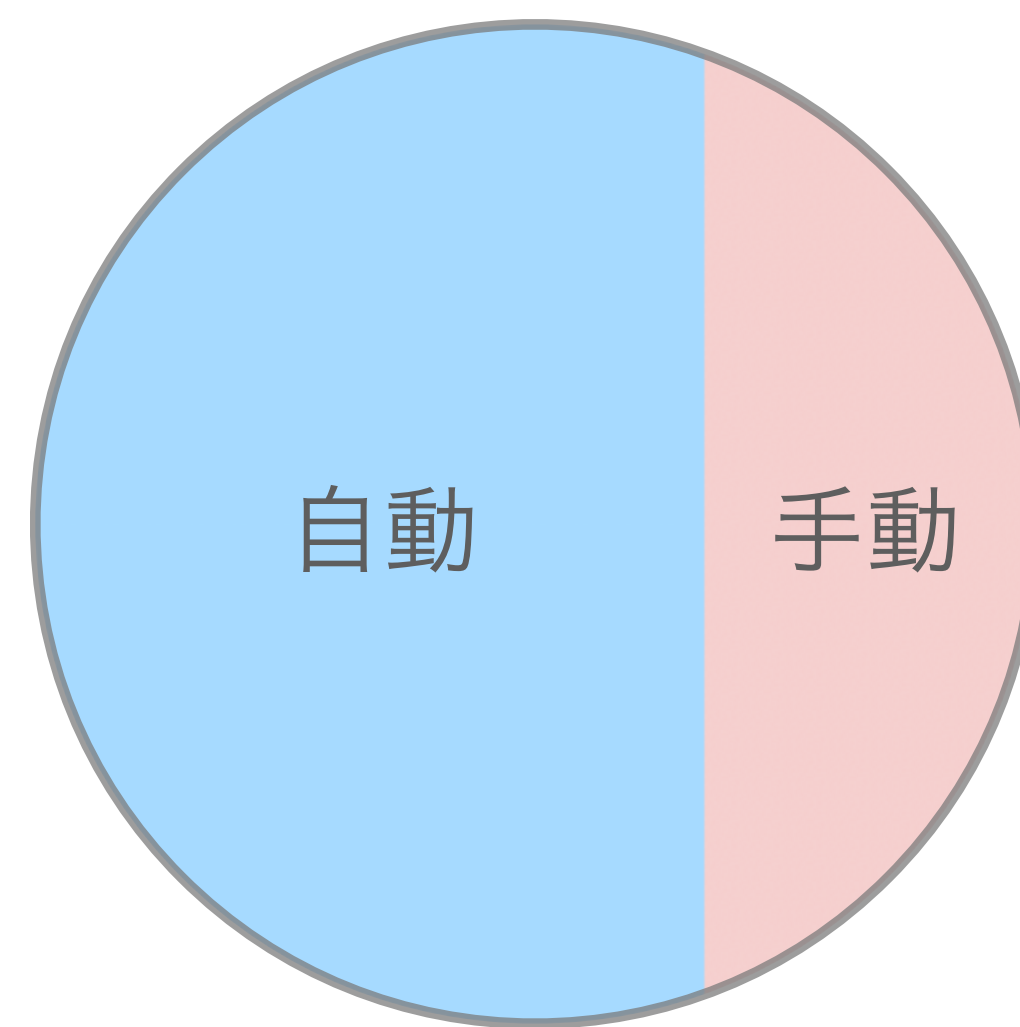
専門性をつなぐ思考

時代の要請

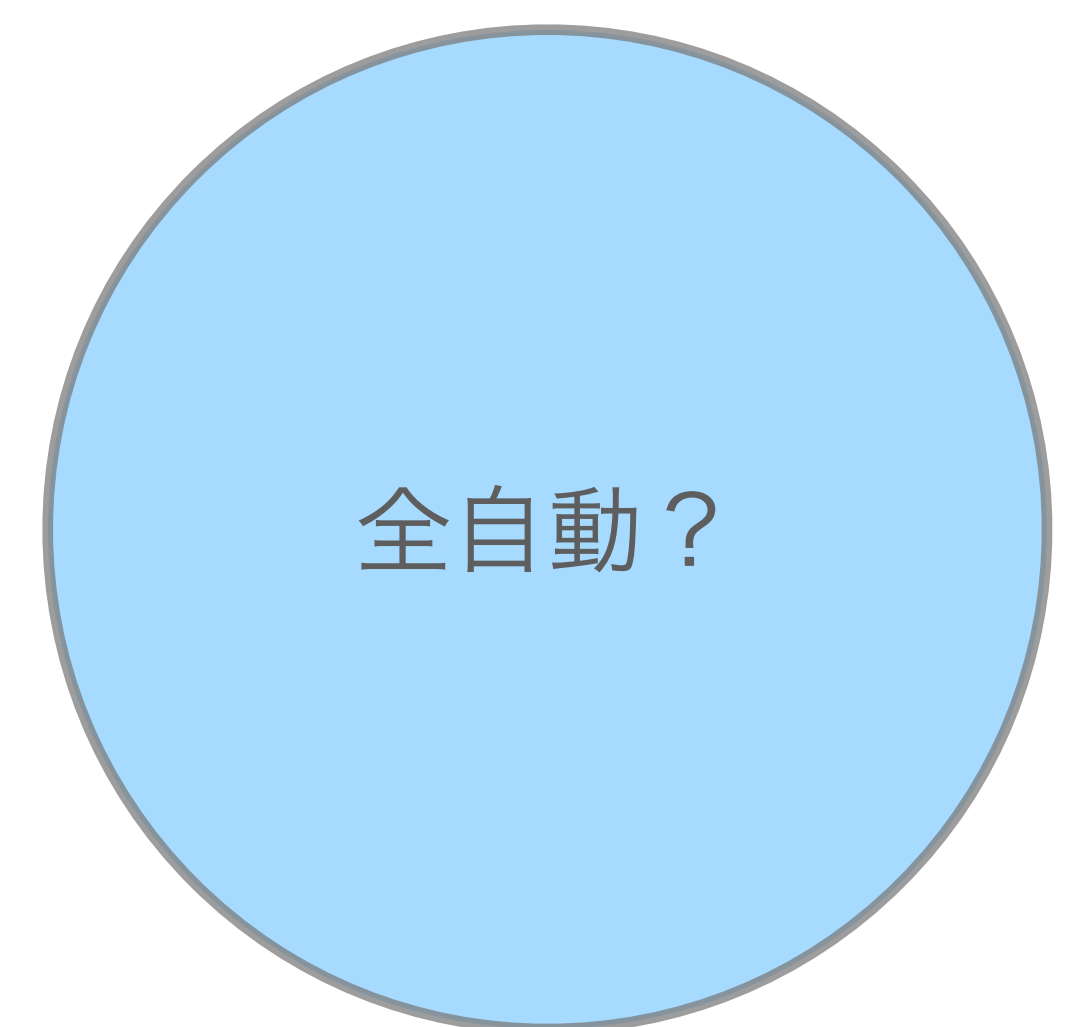
- ▶ 各分野の専門技術の自動化が進んでいます
- ▶ 単純な比率の図ですが、技能習得は不要になるのでしょうか？



これまでの技能発揮



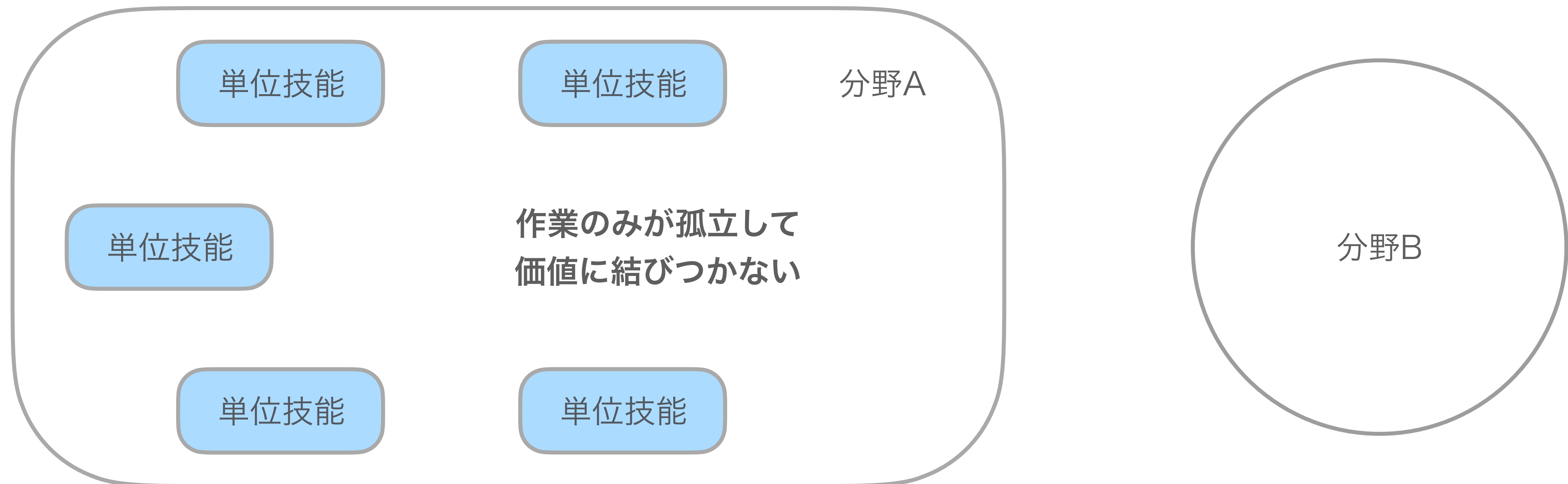
最近の技能発揮



将来は人手不要？

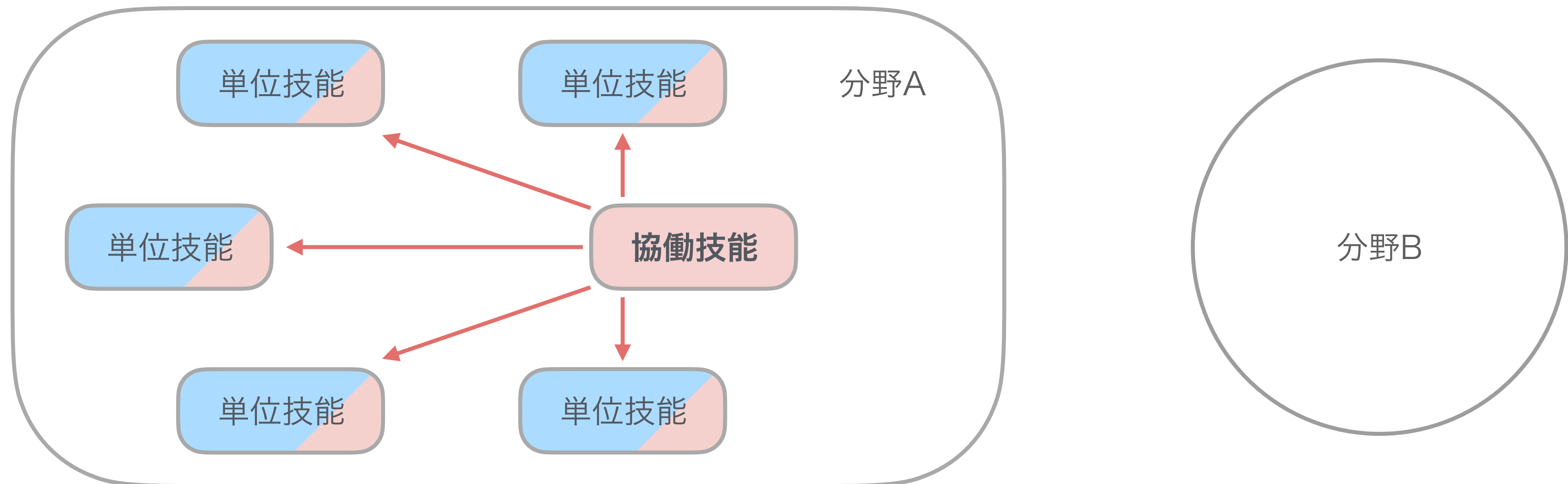
単位技能の自動化

- ▶ 単位技能の自動化は著しく進歩しています…が
- ▶ 単位技能は接続しなければ価値が生まれません. 技能を活かせる人間が必要です



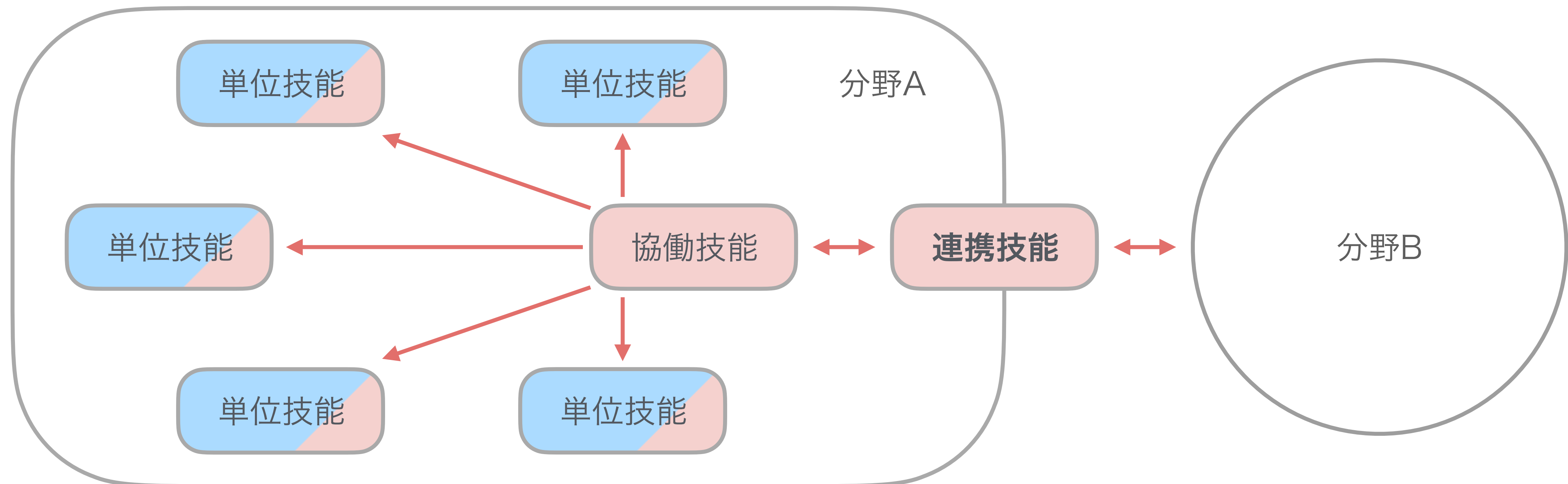
協働技能で技能をつなぐ

- ▶ 単位技能習得はもちろん, 技能群をつなぐ**協働技能が不可欠**です
- ▶ **単位技能を理解して価値を引き出し, 分野を活性化します**



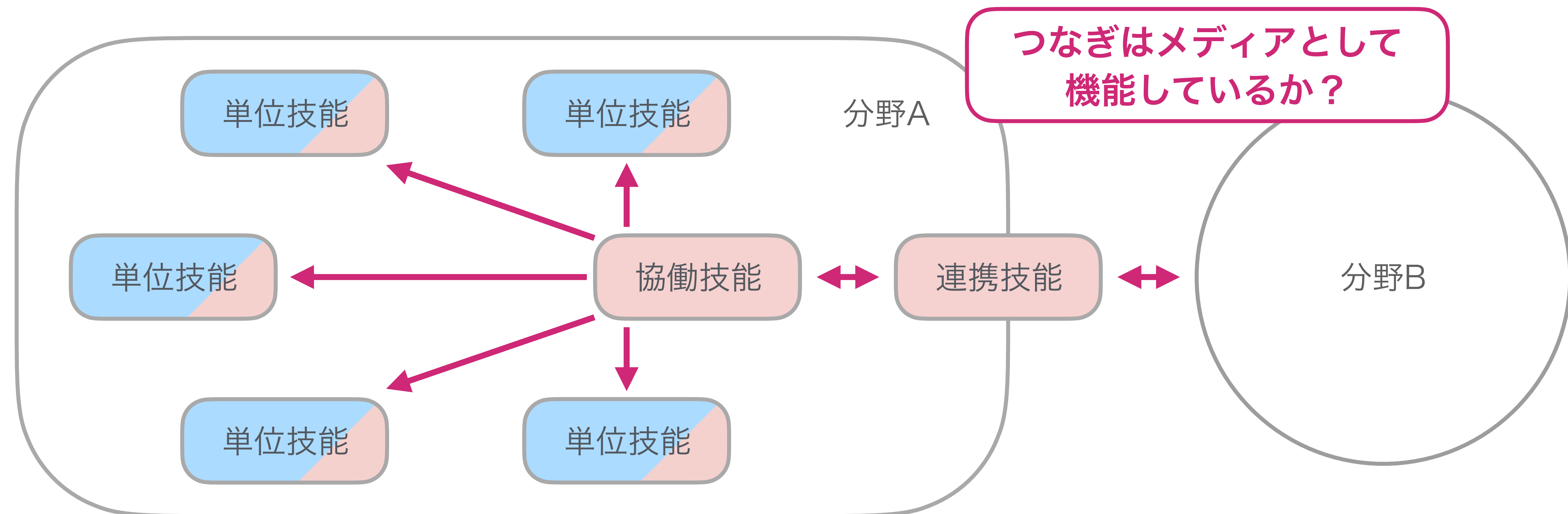
連携技能で分野をつなぐ

- ▶ そして分野を社会で活かすには、他分野と連携する必要があります
- ▶ **分野をつなぐ連携技能**は時代と共に重要性を増しています



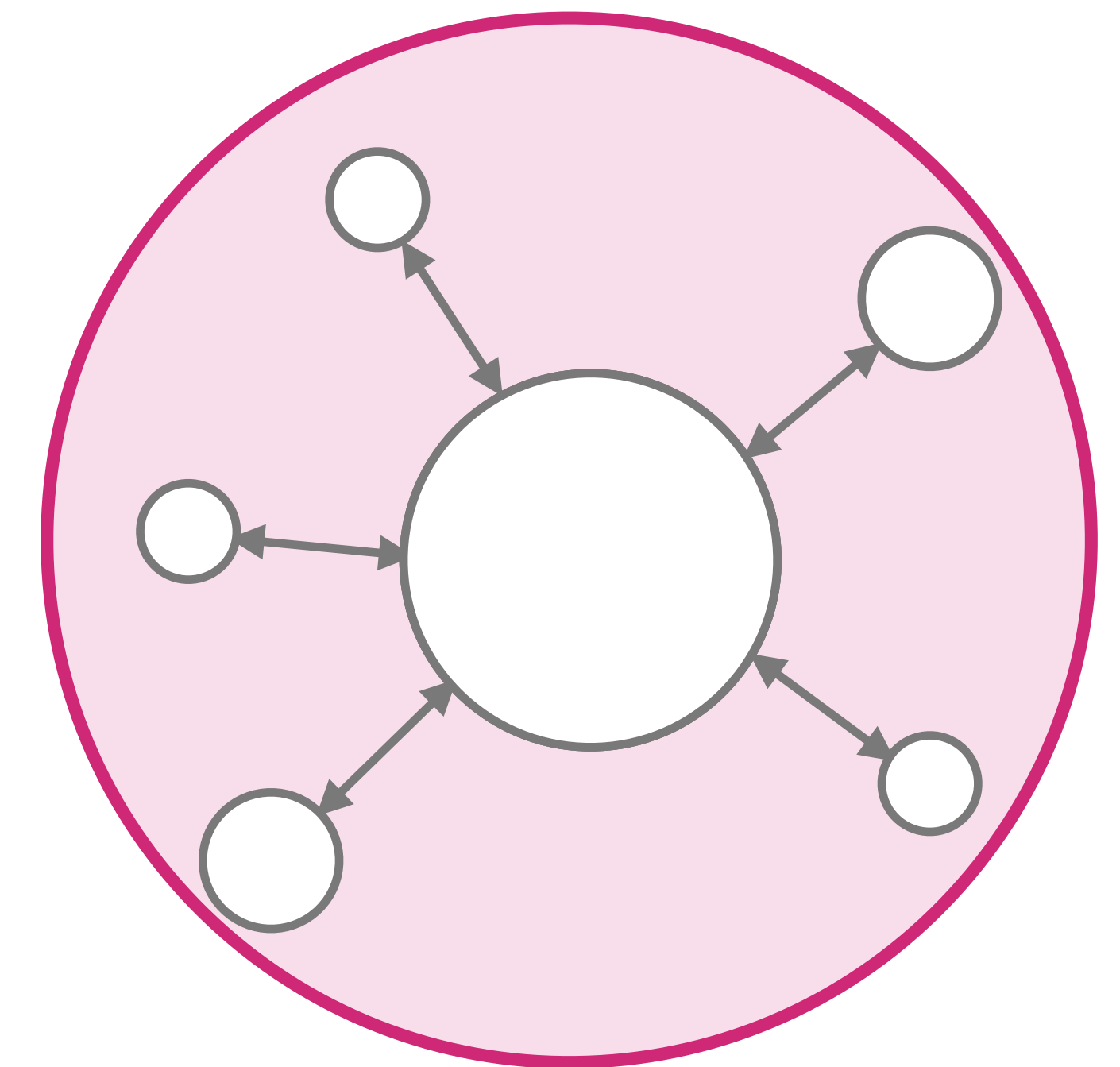
協働 - 連携 - メディア

- 協働技能, 連携技能, そして**つなぐ部分のメディアの性能が問われます**



メディア学部を活用

- ▶ **メディア学部は分野をつなぐ力を培う学部です**
 - ▶ 分野内をつなぐ協働技能, 他分野をつなぐ連携技能を育みます
 - ▶ 多分野の仲間が集まる場所をどう活かすかが重要です
- ▶ **主としたい分野**
 - ▶ 自主活動, 学外活動を強く推奨
- ▶ **それ以外の分野**
 - ▶ 多くの未知分野への接触を推奨 (大学講義は超効率的)
- ▶ **分野融合環境を楽しみ, つなぎに長けた人になってください**



分野融合 = 新分野環境

演習内容の紹介

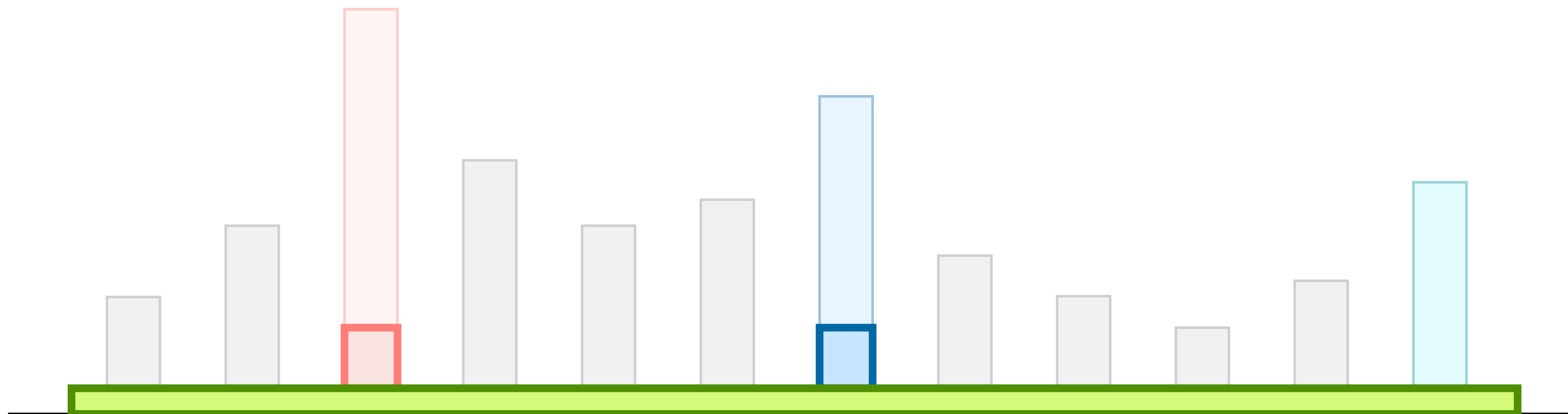
2つの役割と3つの取り組み

本演習のテーマ

渾然一体の美・思考・技術を社会に照らすメディア実装

2つの役割

マルチメジャーへの導入

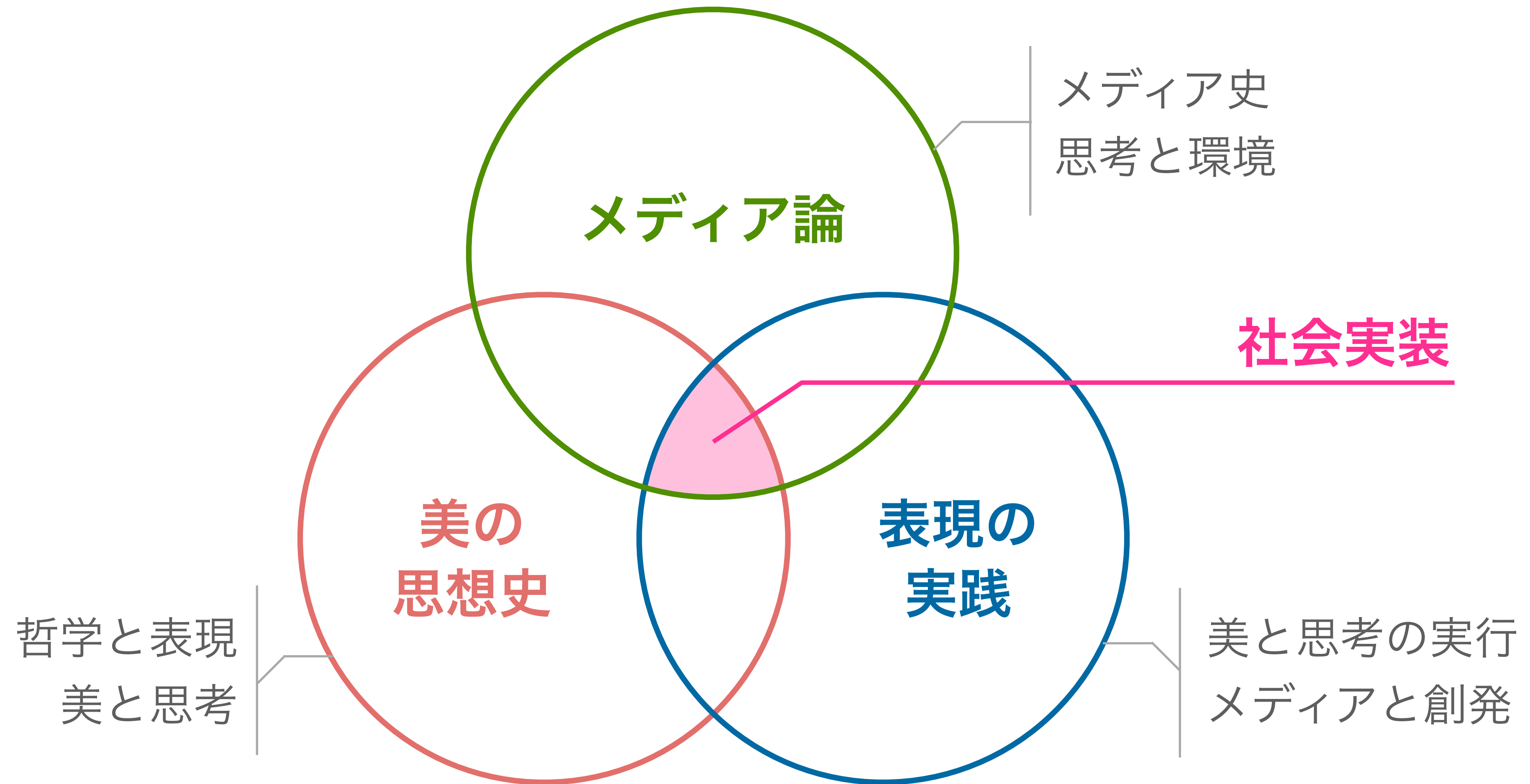


つなぎを支える思考

分野融合とメディア

- ▶ **つなぎ方を考えるメディア学**
 - ▶ 分野のつなぎ方にも良い悪いがあります
 - ▶ 良いつなぎ方を見出すため、メディアへの理解は有益です
 - ▶ メディアへの理解は、協働と連携の力の源です
- ▶ **美・思考・技術・社会を”良く”つなぐメディアとApp**

3つの取り組みと社会実装



社会実装・メディア実装

- ▶ **社会実装**

- ▶ 「研究開発によって得られた
知識, 技術, 製品, サービスを実社会で活用すること」 (大辞泉)

- ▶ **メディア実装** (メディア化による社会実装)

- ▶ 「複数分野の研究開発と実社会を結びつけて活性化し,
社会に有益な物事として実現すること」 (2025 渡邊)
- ▶ 噛み砕くと”誰かが喜ぶために広く知恵を集めて良い仕事をしよう”ということ

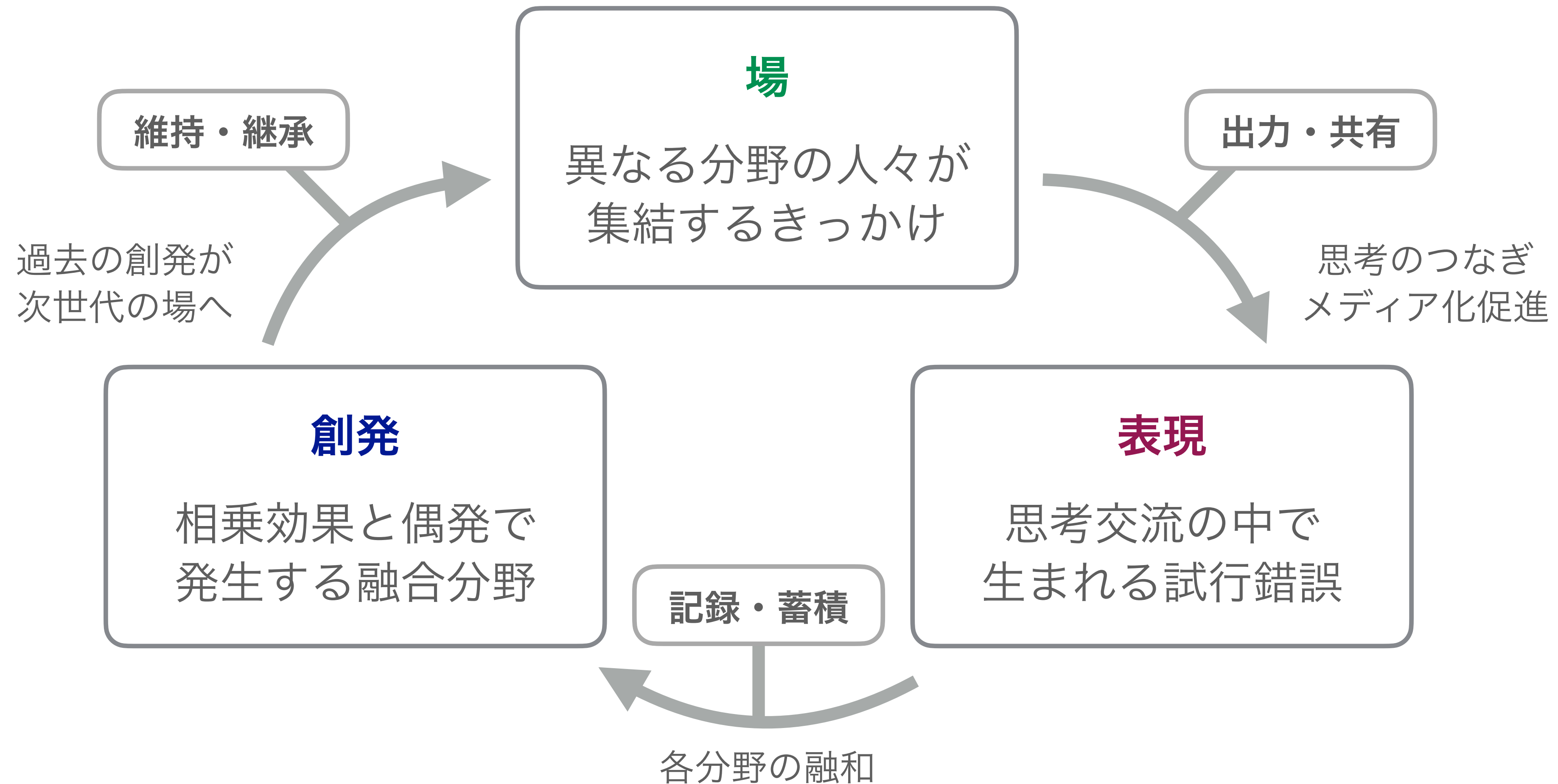
前期 - メディア史からメディア論へ

- ▶ メディア史を眺めメディアの理解を深めました
 - ▶ 個人の思考と交流・メディア化
 - ▶ 表現者の試行錯誤と社会への接続
 - ▶ メディアにおける存在感の重要性
 - ▶ 美の間主観性・文化性を意識した制作
 - ▶ 「メディア・サイクル」
 - ▶ 「メディア・モデル」

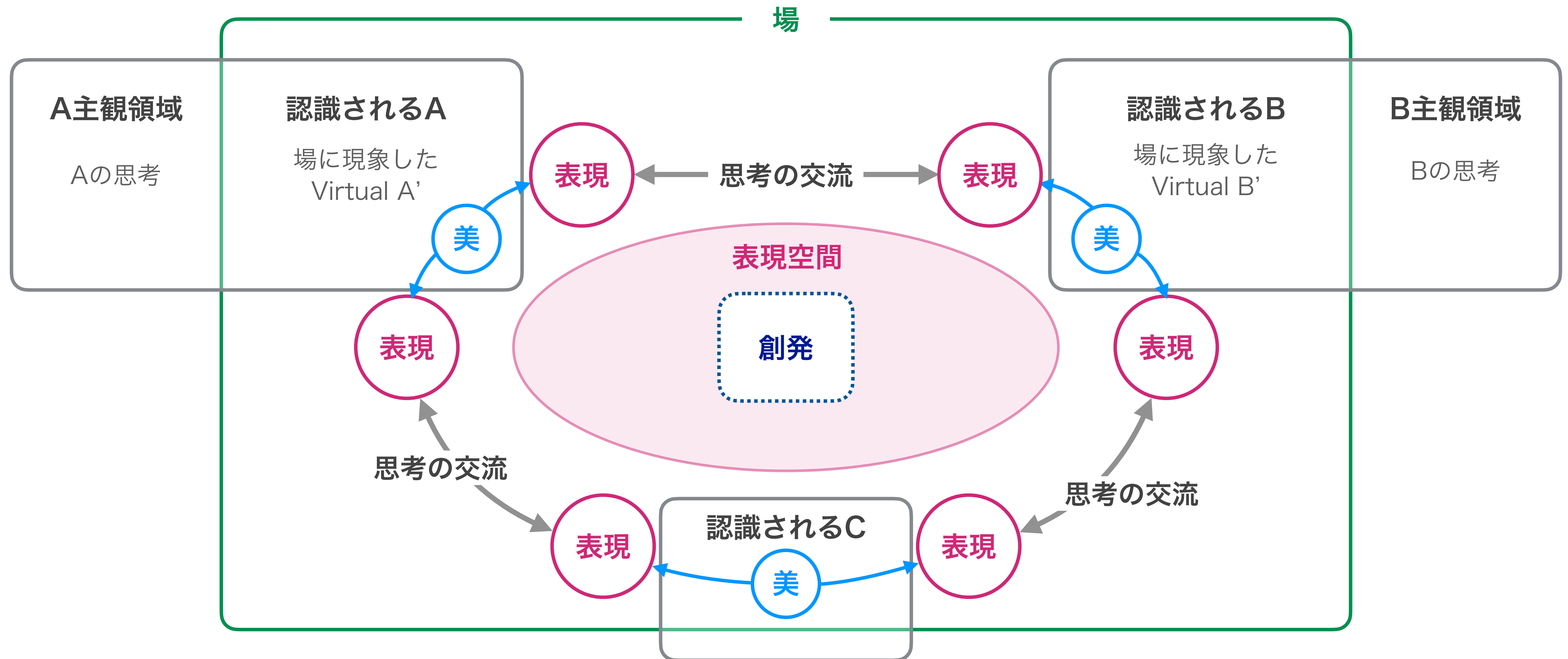


“Maqamat hariri” Zerehshk

メディア・サイクル [A04,A05]



メディア・モデル [A12]

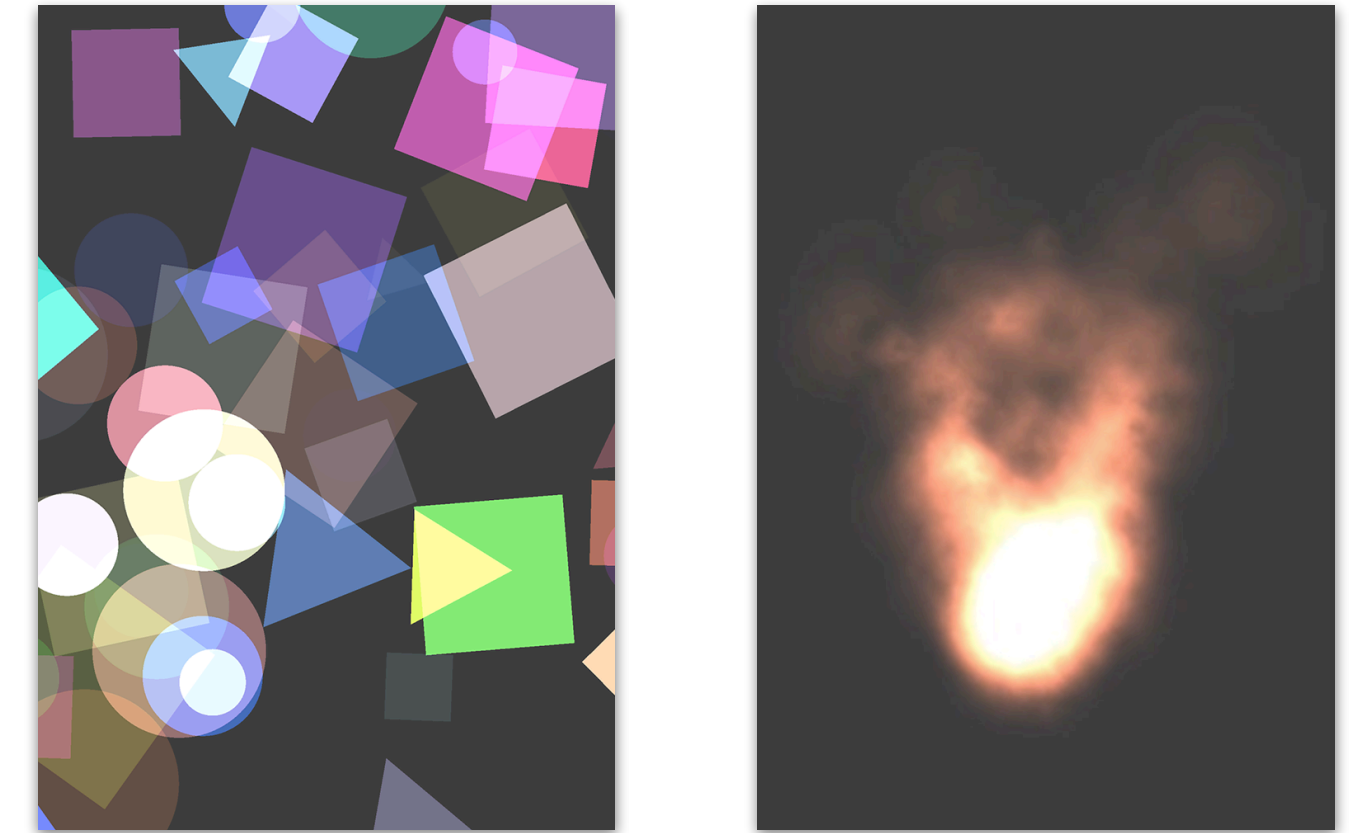


後期 - メディア論からメディア実装へ

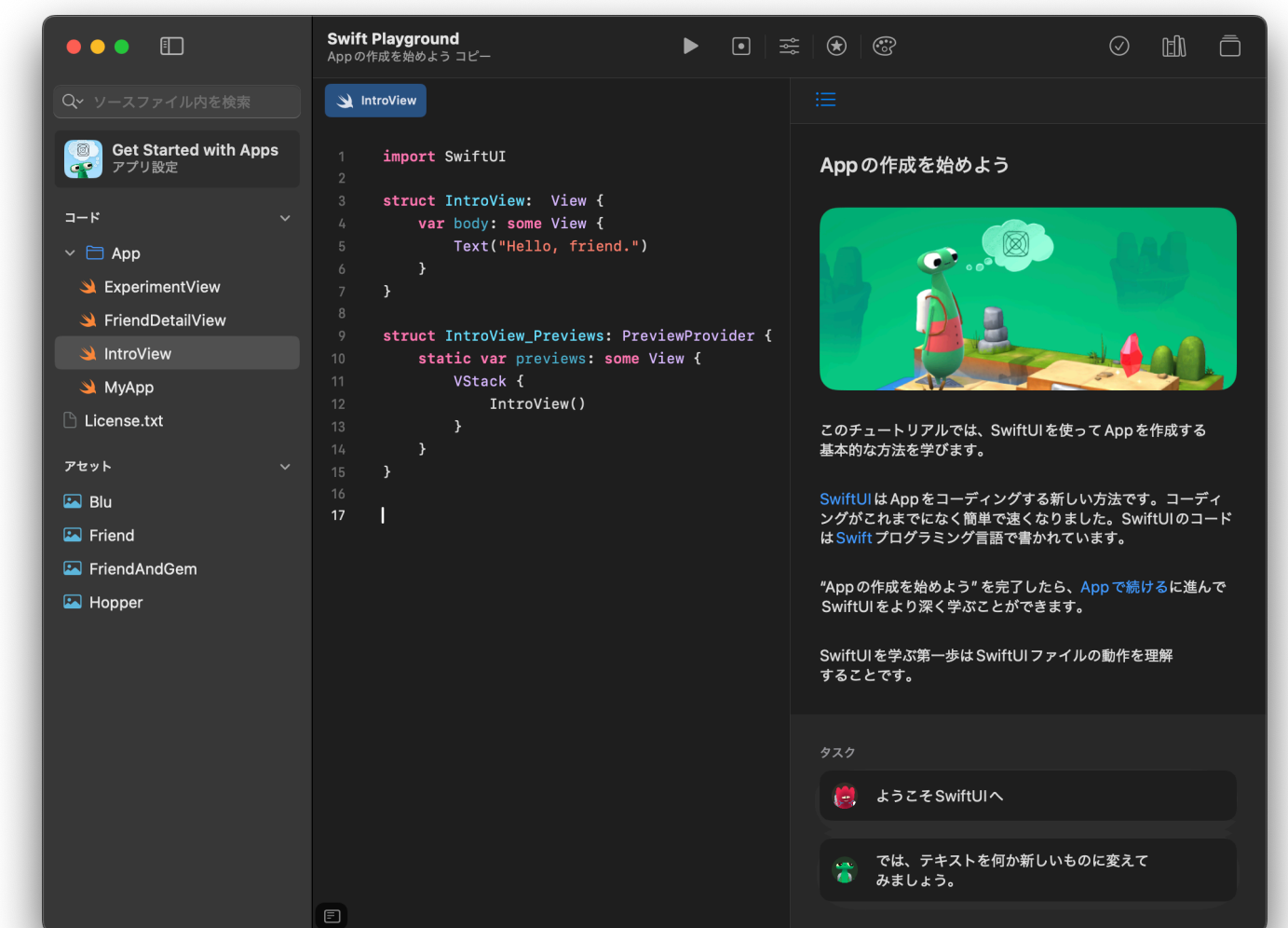
- ▶ 個人の思考を社会につなぎ, 利益・公益を生み出すには？
- ▶ 以下のようなテーマを議論し, 社会実装への応用を考えます
 - ▶ **個人(自己・自我)の思考のための入出力と記録**
 - ▶ **交流のための入出力と記録**
 - ▶ **知覚を拡張する入出力と記録**
 - ▶ **存在の是認・存在感の強調**
 - ▶ **文化性が入出力と記録に与える影響**
 - ▶ **入出力と記録の美しさ追求**

表現の実践

- ▶ **美・思考・技術をつなぐ体験を実践します**
 - ▶ 美と技術のつながりを意識した2DCG作成
 - ▶ メディアを意識したiOS App開発



- ▶ **美・思考・技術・社会のつながりを志向します**
 - ▶ 技術を有意義な社会実装へ導く



授業情報

開催, 履修, 講義の参加方法

開催情報

水曜 4, 5限

講義実験棟 5F Studio5-1

A メディア談義

15:10 - 15:40

テーマの紹介



15:50 - 16:40

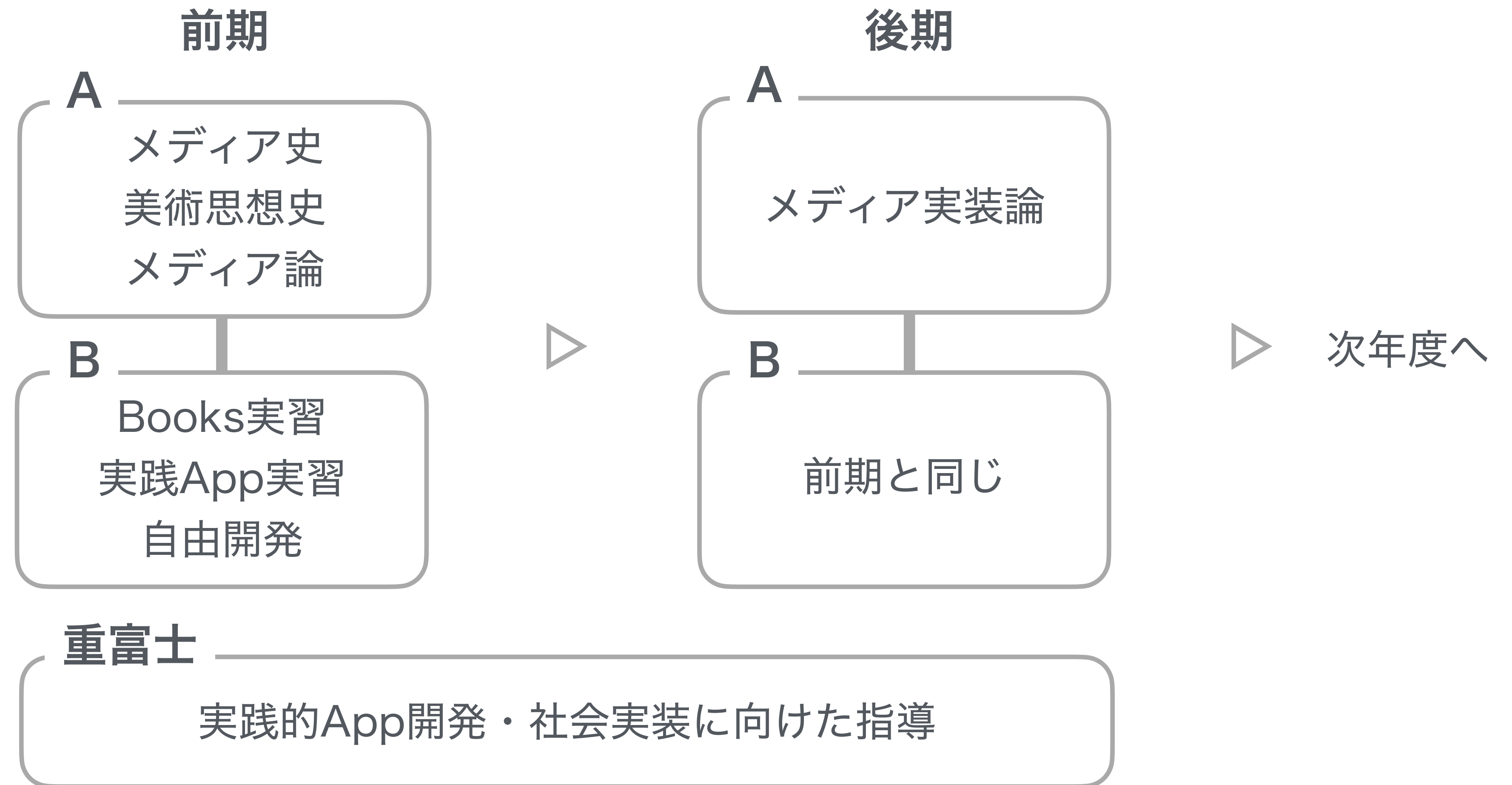
テーマの議論

B 開発実習

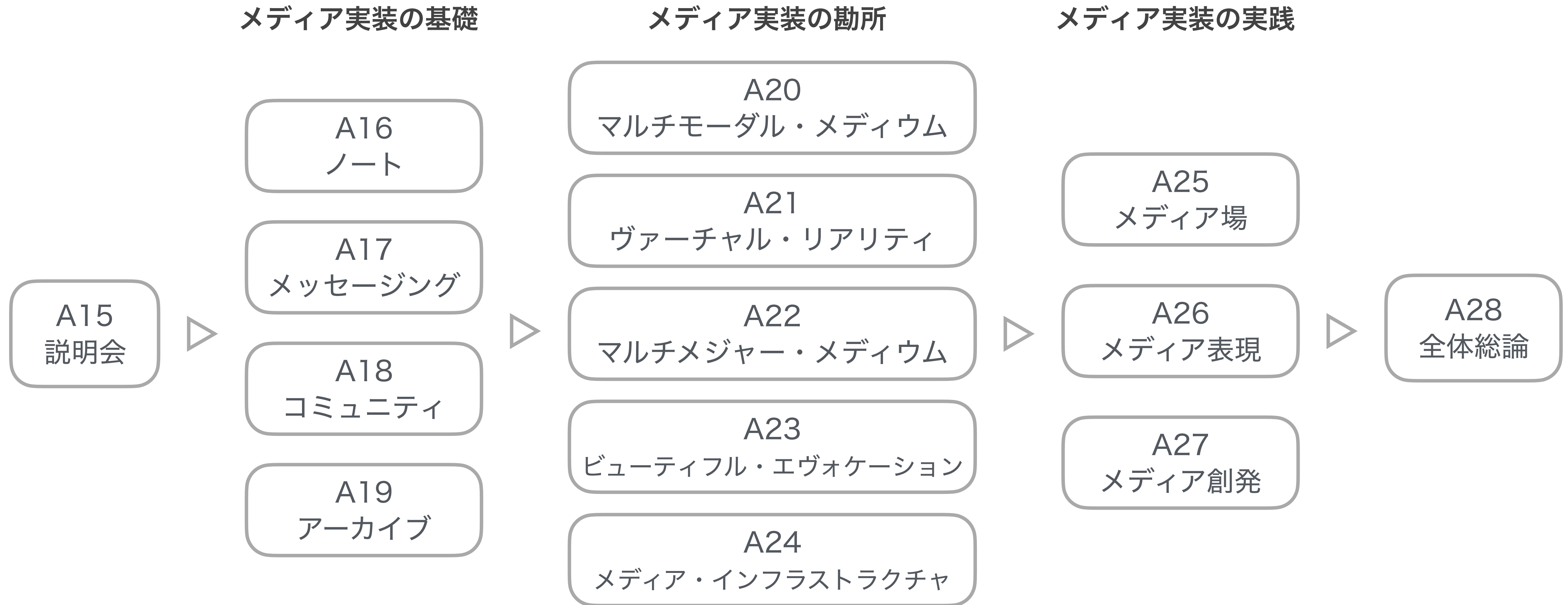
17:00 - 18:30

プログラムと技術談義 / 実習・相談・企画

講座サイクル



後期CreApp-Aの流れ



Bの学習と活用

iPad / Mac
Playground Books

コードに親しむ



iPad / Mac
実践App開発

自己表現を楽しむ
美しい表現の試み
協働と連携を学ぶ



iPad / Mac
重富士Project など

Appの自作
社会実装の挑戦

講義情報

- ▶ 1年で全内容を学び, 3年繰り返すことで理解を深める形式です
- ▶ 聴講
 - ▶ **可能** (手続きは不要です)
- ▶ 履修
 - ▶ **1単位 / 14週参加**
 - ▶ ※ 2コマ開催していますが, **A, Bのどちらか1コマ受講で単位が認定されます**
 - ▶ ※ 2コマ参加は自由です, 両方参加してもらえるとより効果的です
 - ▶ **1Q or 2Qのいずれか1つを履修登録してください**

成績評価

- ▶ **BookStackへの記事投稿 (100/100点)**
 - ▶ BookStack : 各自の記事を投稿できるサービス
 - ▶ Classroomの資料から参加が可能です
- ▶ **提出要件**
 - ▶ **演習3回分以上の記事を執筆 (提出期限: 最終回の日授業開始時まで)**
 - ▶ **記事1つにつき500文字以上 (計1,500文字以上)**
 - ▶ 講義メモや考察, プログラムコード進捗 など
 - ▶ 他者に伝わりやすい記事を心がけ, 読みやすい・学びがあるものは加点

おわりに

- ▶ メディアの素養を身につけて行うApp開発実装の演習です
- ▶ また多くの分野に応用できるメディア学の学びが得られます
- ▶ **メディア学部ならではの強み**を身につけてもらえたらと思います
- ▶ 当演習は即効性はありませんが、**長期的に効いて長持ちです**
- ▶ **みんなでメディアの話をしよう. メディアAppをつくらう**